



大谷婦人会

すみれ

2015年度 全国支部長・役員研修会 2016年4月19日～20日 開催

講師 ^{ゆずり} 譲 ^{さいけん} 西賢 師 (大垣教区第6組慶圓寺住職・岐阜聖徳学園大学教授)

浄 土の荘厳が相整った大谷ホールで、全国支部長・役員研修会が開催されました。講題「女性は如来の代官～感情受容の安らぎ」のもとおはなしのはじまり。

私たち女性は、如来様から沢山の感情を受け止めていく広やかな心を賜わっている。実に家庭で家族の心模様を聞き取り受け止めるという大切なお仕事がある。「本当に大切な事を伝えているのか」「最期の一言“何を伝えるのか”一人ひとり決まっているのか」と力強くおさえられ「とどけよう ナンマンダブ」と参加者一同の覚悟を改めて全身で感

じとり1日目はおしまい。

2日目は、定刻どおり大型バス3台が、一路、唯円大徳を開基とする立興寺と聖徳太子ゆかりの橘寺へ快走。途中道の駅で休憩。驚き驚き、売店でアッ!という勢いのショッピング三昧。立興寺到着。ご住職から縁起をお聞きし、裏山の唯円大徳のお墓に参拝。そしてまたまた驚き、昼食を頂き終わるや否や、売店が大賑わい。恐るべきパワーに圧倒されるも、古の都の原風景に触れた意義ある研修でした。

大谷婦人会委員長 宮本 春美

大型バス3台!
たくさん集まったんだね。



4月16日に発生した平成28年熊本地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで御弔意申し上げますと共に、被害に遭われた多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。



今回の支部長・役員研修会では
29万1355円の義援金を集めさせていただきました。
みなさまありがとうございます!!

2016年3月28日～30日 東北被災地訪問

主な訪問先

原町別院(福島県南相馬市)
仙台教務所(宮城県仙台市)
宮城県石巻地区



2011年3月の東日本大震災の発生以降、大谷婦人会は被災地に対して支援を続けてきました
(義援金は、震災当初は岩手県の3支部、その後は仙台教務所にお届けしています)。

2013年9月、地域の復興を願って原町別院支部が設立されたことをご縁とし、多くの会員から、被災地に赴いて被災された多くの方のお話をお聞きしたいとの要望が寄せられ、このたび会員有志の24名が訪問しました。

1日目

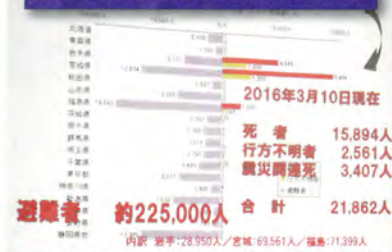
集合地仙台空港を目指す。飛行機が流されている光景をテレビで見たことが浮かぶ。南相馬に向かう車窓には、殺風景な除染された田畑が続く。仮設住宅も目にする。向こうは、海岸線なのか思いを巡らせてばかり。

原町別院支部の人たちに迎えられお話を聞く。借り上げ住宅で生活の人も集って聞法する。西京子支部長の詩吟「空は晴れたり みちのくの秋」最近ようやく吟ぜられるようになったことを聞き、悲しみが私にまで届く。みえない、においもないものの恐ろしさ。科学発達の恩恵を受け毎日を生活している私たち。現場に出向き、見かけの復興の様子を見、生き方が問われる。

2日目

この震災で必ず引合いに出される門脇小学校、大川小学校へバスを走らせた。川沿いのだだっぴろいなにも無いところに大川小学校だけがポツリと残っていた。渡り廊下のコンクリートの太い柱も傾いたまま、地面はガラスやタイルの小さなかけらでいっぱいだった。灰色の空、雪の降る中50分という長い時間立って待っていた子ら、どんなにか冷たくどんなにか恐ろしかったことか。

東日本大震災の被害者数



悔やんでも悔やみきれない取り返しのつかないこと、理不尽で不条理なこと、一生納得できないこととして受け入れざるを得ない私たち。倦きことなくはたらき続ける大悲のもと、如来の智慧である念仏がこの世に響き渡らんことをただただ願うばかりです。

仙台教務所



大川小学校 校舎



大川小学校の裏山



日和山から北上川を望む



3日目

松島湾を巡る遊覧船の中で、ガイドさんが、「震災に遭って、日本だけでなく世界中の人から支援を受けた。私がいただいたご恩を今度は違う誰かに、という「恩送り」という言葉がある。東北の震災後、国内に留まらず海外の被災地の支援も積極的に行っていこうと思った」とおっしゃったことが印象に残った。

参加者の声

仙台教務所・清谷所長のお話で、岩手・宮城・福島の災害状況を知り、特に放射能によって家族やつながりが分断される悲しさを改めて知る。石巻の津波の被害を実際に眼で見、地に立ってみてその生死を分けなきびしさと自然の脅威を身を感じました。大川小学校、多くの子どもたちの顔々が浮かびお念仏申さずにおれません。あの時、山に登ってれば…の思いの間に合わない絶対の現実には只々悲しくやるせなく合掌するのみでした。語り部の佐藤さんのガイドでよく現実を把握できました。ありがとうございました。

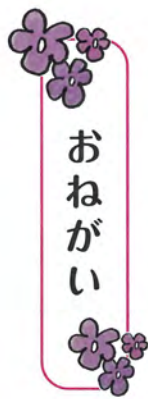
おだやかな海の風景、雄々しくそびえる山に人々の心をいやす自然、地下の変動でむきだしのきばをむく。5年を経た今、人々は今なお、安らぐ事も幸せを感じる事も先の見えない旧々に苦しむ。あたり前の生活を自然の中で暮らせられる様、念ずるしかない。

南相馬・浪江という地名を眼にし、福島に来たんだと思い、願いがありながら訪れられなかった地に立つことが出来ました。原町別院に参り待って下さっていた同朋に会い、すばらしい詩吟・ハーモニカに胸を熱くし、同時に放射能汚染にて今も肥料米しか作れない現実を知り、私共の欲望の満足の方向には決して、いのちの満足はないということを思いりました。この御縁に感謝です。有難うございました。

「再生を心ひとつにして 石巻市」車窓から見る田園風景、宅地造成に動くブルドーザー。5年前、テレビにくぎづけになっていた無惨な光景はだんだんと薄れてきている様に思われ、「風化」の2文字が浮かぶ。今なお仮設生活に苦しむ人をどう支えればいいのか、無能な私にはわからない。ただ念ずるしかない。

震災の時に「大切なものは何だったのか」を忘れないで今を生きている。私たちも大事な何かがあつた。それが生きる喜びなのかもしれないと感じました。

自然と科学技術によってもたらされた凄惨な災害に直面した。その悲しみは筆舌に尽くしがたい。



おねがい

義援金のお願い

大谷婦人会では、東日本大震災、被災地支援を続けてまいりました。この度、平成28年熊本地震をうけ、新たな被災地支援の拡大のため、義援金口座を開設しました。皆様のご協力をお願い致します。振替口座は右記の通りです。

郵便局 振替口座

真宗大谷派大谷婦人会災害義援金 口座
00950-3-209979

なお、上記口座は義援金専用の為、大谷婦人会年会費や花すみれ購読料など義援金以外の送金については恐れ入りますが、別に送金くださいますようお願いいたします。



ご案内

◆ 2016年度 委員会

〔日 時〕2016年7月25日(月)14時より

〔会 場〕真宗教化センター(大谷ホール)

全国の教区(ブロック)の会員より選ばれた27名の委員が集まり、2015年度事業報告・決算、および2016年度の事業計画・予算等が議決されます。

◆ 第69回 東海・近畿地区聞法会

〔期 間〕第1組 2016年9月6日(火)～7日(水)、第2組 2016年9月7日(水)～8日(木)

〔会 場〕三重県鳥羽市「鳥羽シーサイドホテル」 〔講 師〕東京教区 長願寺住職 海 法 龍 師

〔冥加金〕12,000円(1泊3食含む)

お申込みについては事務局までお問い合わせください。

◆ 2016年度 全国大会・秋季永代経法要

〔日 時〕2016年11月22日(火)14時より

〔会 場〕真宗本廟・真宗教化センター(大谷ホール)

〔講 師〕金沢教区 光専寺前住職 木越 樹 師 〔冥加金〕2,000円

大谷婦人会は、長年にわたり「聞法一路」のスローガンを掲げ、全国の女性たちのネットワークづくりを進めています。大谷婦人会全国大会は、一人の念仏者の誕生を願いとして仏法聴聞の場を開き、全国の会員の交流促進を目的に開催する本会の年間最大行事であります。2016年度は会員からの要望を受け、報恩講期間中に開催します。

交流会

〔日 時〕2016年11月22日(火)18時より

〔会 場〕ハイアットリージェンシー京都(三十三間堂東側)

〔冥加金〕10,000円

大きな字で
大変読みやすいですよ

花すみれ

親鸞聖人のお念仏の教えが日頃の生活の中での経験や人とのふれあい等を例にあげて、わかりやすく説かれています。年間購読の方には毎月お送りいたします。

ご購入、お申込みについては事務局にお問い合わせください。

購読料 年間2,400円(送料込)

花すみれ



大谷婦人会事務局 TEL.075-371-6181

編集後記

(猪俣常任委員)

東北被災地訪問に参加させていただきました。

大川小学校で74名のお子さんの命が奪われたことは、大変いたましく胸が締めつけられる思いがしました。同時に亡くなられた先生方の話も聞き、私だったらどう判断し、どう行動したか、やるせない気持ちでした。

また、原町別院にて、いまだに避難生活をされている方のお話を聞き、地震国である日本における原発が今後どうなるのか、大いに考えさせられました。

南無阿弥陀仏をとなくれば
えんまほうおうぞんきよう
炎魔法王尊敬す
ごとう みようかん
五道の冥官みなともに
よるひるつねにまもるなり

「浄土和讃」 真宗聖典 四八八頁